

年間第18主日の説教

金 大烈 神父 2011年7月31日(日)

《分かち合い ～地球を100人の人が住む村と考えるならば・・・～》

今日の福音(マタイ14・13-21)に隠れている意味は、もうよくご存知ですよ。

今日は、数日前に見つけた面白い統計について皆様と分かち合いたいと思います。

今、地球には、63億人の人々が生きています。63億を100と考えると、この地球が100人の人が住む村だと考えてみましょう。

◇100人中、61人はアジア人、13人は南北のアメリカ人、13人はアフリカ人、12人はヨーロッパ人、残り1人は南太平洋の人です。(ある程度分かる数字ですね。)

◇52人は女性で、48人は男性です。

◇47人は都市で暮らしています。

◇9人は、障害者です。

◇70人は大人で、そのうち7人は老人です。

◇90人は異性愛者で、10人は同性愛者です。(結構多いですね。)

◇33人はクリスチャン、18人はムスリム(イスラム教徒)、14人はヒンズー教徒、6人は仏教徒、16人は宗教を持っていません。13人は更に違う宗教を信じています。

(一番多いのがキリスト教徒ですね。二番目はアラ神を信じるムスリム。ヒンズー教はインドの宗教で、日本の神教と似ています。仏教は100人中6人で少ないですね。)

◇17人は中国語を使い、9人は英語、8人はヒンズー語、6人はスペイン語、6人はロシア語、4人はアラブ語を使います。残りの50人は、ポルトガル語、インドネシア語、日本語、ドイツ語、ベトナム語、韓国語など多様な言葉を使っています。

(中国が一番人口が多いため、一番多く使われる言葉は中国語です。しかし、いろいろな方言があり、発音だけでは通じない地域があります。そのため、中国の映画は下に字幕がつきます。そして、インドも人口が多いので、インドのヒンズー語も多く使われています。スペイン語は、ブラジル以外の南アメリカでは全ての国で使われています。)

◇20人は栄養失調で、1人は飢えて死ぬ直前です。しかし15人は肥満です。

(20人の栄養失調の人と、15人の肥満の人。面白いですね。)

◇43人は衛生施設の整備されていない所に住み、18人は安全で清浄な水さえ飲めない状態です。

◇この村の全ての富のうち59%を6人が所有し、39%は74人が所有しています。そして、わずか2%だけを20人が分かち合っています。(面白いですね。)

◇この村の全てのエネルギーのうち、80%を20人が使い、残りの20%を80人が分かち合っ

て使っています。

◇銀行預金口座を持っているのは、一番裕福な30人だけです。

◇18人は、70円以下のお金で1日を過ごし、53人は150円以下のお金で1日を過ごしています。

◇車を持っている人は、7人だけです。

◇パソコンを持っている人は12人だけ。そのうち3人だけがインターネットを使えます。

◇中等教育（中学校、高等学校を卒業）を受けた人は7人、大学教育を受けた人は1人だけです。それに比べて14人は文字さえ読めません。

◇もしあなたが、冷蔵庫に食べ物を保管し、衣装箆筒に服を入れ、寝られるベッドを持ち、雪と雨を避ける屋根がある自分所有の家で暮らしているならば、全世界の75%の人々より裕福です。

◇もし、空襲、爆撃、地雷による死亡や武装団体の強姦、拉致による恐怖の中で暮らしていなければ、そのような環境にいる20人より祝福されています。

◇もし、^{いじ}苛めや逮捕と拷問による死を恐れなくて、自分の信念と良心によって動けるならば、それができない48人より祝福されています。

◇一年間に、この村の100人のうち1人が死にます。しかし、2人の赤ちゃんが新たに生まれます。村人は、来年101人に増えます。

なぜこのような統計を紹介したのか分かりますか。63億の人々の中では、私たちは豊かさに溢れています。だから感謝しましょう、という話ではありません。

今日の福音でイエス様は、5000人（女性や子どもを含めたら1万人以上）の人々を食べさせる技を見せてくださいました。それはマジックのようなものではありませんでした。イエス様は、「三々五々、群れを作って座り、気にしないで、自分の袋の中にある物を出すように。」とおっしゃいました。それによって、全員が分かち合うことができ、更に残りが出たのです。ある意味で^{まこと}真の奇跡を教えてくださいました。

先ほどの統計を見ると、皆様も痛みを感じられると思います。私たちは、特別なこともなく豊かな生き方をしているのかもしれませんが、しかし、この豊かさのためには、誰かが悩んでいるかもしれません。それをいつも意識しなければならないと申し上げたかったのです。

何か月か前に、一人の韓国人の司祭を紹介させていただきました。アフリカのヌーダンというところで、医師として、司祭として働き、48歳という若さで癌にかかり、志半ばで亡くなられた、李泰錫(イ・テソク)神父です。その日記をのぞいてみると、そこにこのように書かれています。

分かち合いが決して物質的なことではないのをもう一度分かるようになりました。

私が先に分かっていたことを教えること、

私ができることを他人もできるように手伝うこと、

私が先に得たものを他人と分かち合うこと、・・・(中略)。

私には分かち合うことが無いと思いましたが、
考えてみますと、分かち合えるものが溢れるくらいたくさんありました。(中略)

分かち合いながら、より豊かになるのを感じます。
分かち合って他人にあげましたが、何も減らずに
どんどん、分かち合えることがより多く増えて来ました。

今日の福音と全く同じ内容です。

私たちが、子孫に未来を残す唯一の方法は、分かち合いだと思います。この世を維持する唯一の方法は、分かち合いしかないと思います。分かち合いがなければ、私たちは絶対未来に希望を持つことができません。

分かち合うというのは、お金のことではありません。何よりも一緒に痛み、一緒に喜び、一緒に与ろうとする心であることを意識しましょう。

今日も私たちはご聖体をいただきます。ご聖体の^{まこと}真の意味も分かち合いです。「私が自分の体を裂いてあなた方の口に入れたように、あなた方も他人と分かち合いなさい」というイエス様の一番大事な命令であることをもう一回意識しましょう。

ありがとうございました。

ミサ後

指は、両手で10本、両足にも10本あります。全部で20本です。この20本のうち、噛まれていたくない指はありません。20本の指、20人の子どもを持つ父親が神様だと考えてみてください。

1本の指が痛ければ、お父さんの心はどうなるでしょうか。

飢えて死ぬ子を見ながら何もできない時、神様の心はどうなるのでしょうか。

私たちはそれを理解しなければなりません。そのために、全ての人に目や耳を傾ける必要があります。より深く、温かい視線を隣の人に送る一週間にしてください。